

園芸市場情報

平成29年3月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

3月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年並み、相場は前年を上回るか！

世田谷市場で県内切り花産地の合同展示会を開催

千葉県は全国トップクラスの花き生産県です。特に冬から春にかけては温暖な気候を活かし多彩な切り花を出荷しています。平成29年2月17日に東京都中央卸売市場世田谷市場の(株)世田谷花きにおいて、千葉県花き園芸組合連合会の声掛けで切り花産地5団体が合同で展示会を開催しました。

(株)世田谷花きでの展示会は初めての試みでありましたが、参加者はそれぞれ持ち寄った自慢の切り花のセールスポイントを説明したり、実需者ニーズを探ったりと、ホットな会話で有意義な展示会となりました。

千葉の花は多彩な品種・品目構成が売りで多くのファンを抱えています。千葉の花を売ってくれる人達に向けた情報発信力が弱いと常々指摘されています。今回の県内産地の合同展示会は「千葉の花」をPRする良い機会となりました。



セリ前あいさつ



展示会への来客



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 2月(中旬まで)の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 3月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「だいこん」

II 花き(切花)情報

- 06 2月の経過(販売経過、品目別経過)
 3月の見通し(ガーベラ、ストック)
 入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 1月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 「制 約」

V 首都圏掲示板

- 09 「青森県産りんご、知事トップセールス開催！」
 「しのぎを削る中晩柑！2月の果実売り場！」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ± 16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 2月（中旬）までの経過

野菜類

気象	<p>関東以西では寒暖の変動が大きく、強風の日もあったものの、全国的には穏やかな天候となった。</p> <p>気温は、関東や北日本では平年より高くなり、東海以西の西日本では平年並～やや下回った。</p> <p>降水量は、太平洋側では平年より少なく、日本海側で多くなった。特に、関東では少なかった。</p> <p>日照時間は、全国的に平年並からやや多かった。</p>
入荷量	<p>関東産、西南暖地産が中心となった。</p> <p>強い低温等の影響を受け、入荷が大きく乱れた前年と対照的に、本年は比較的天候が安定し、入荷はほぼ平年の水準となっている。入荷量は、「だいこん」「にんじん」「はくさい」「キャベツ類」「ねぎ」等の露地重量野菜で多かった前年を下回った一方、「ほうれんそう」「レタス類」等の葉菜類は少なかった前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、2月上中旬入荷量は83,338t（前年比97.3%）と前年並だった。</p>
相場	<p>入荷の安定に伴い、長らく続いた高値基調も落ち着きつつある。前年に入荷量が著しく多く、価格の低迷した「だいこん」「にんじん」「はくさい」「キャベツ類」「ねぎ」等の露地重量野菜は前年を上回った一方、前年、雪害・低温等のダメージを受けて入荷が減りこんだ「ほうれんそう」「レタス類」や「きゅうり」「トマト」等は前年を下回った。</p> <p>野菜全体では、2月上中旬平均価格は256円/kg（前年比97.9%）と前年並だった。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類・かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に上回った。</p> <p>前年が前倒し出荷のため品薄となった「みかん類」は順調な入荷で、少なかった前年を大幅に上回った。「いちご類」も順調な入荷が続き、前年を大幅に上回った。</p> <p>果実全体では2月上中旬入荷量は27,278t（前年比111.1%）と少なかった前年をかなり上回った。</p>
相場	<p>果実全体の入荷が順調だったため、品薄で価格高だった前年の価格を多くの品目で下回った。</p> <p>果実全体では、2月上中旬平均価格は435円/kg（前年比94.6%）と前年をやや下回り、高値基調はやや和らいできているものの、依然として平年をかなり上回っている（平年比111.0%）。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成29年1月下旬～平成29年2月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	1月下旬				2月上旬				2月中旬				2月上旬計			
		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年6日・前年7日		開市日数 本年14日・前年15日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	市場計	46,931	100.0	246	100.3	44,878	98.9	254	96.5	38,460	95.4	259	99.6	83,338	97.3	256	97.9
だいこん	市場計	4,822	96.0	81	117.8	4,677	96.9	87	101.8	3,844	99.6	92	133.5	8,521	98.1	89	114.3
	千葉	1,529	85.6	82	113.7	1,518	86.6	87	99.2	1,182	86.8	97	127.9	2,699	86.7	91	110.8
にんじん	市場計	2,806	91.3	155	196.8	2,477	88.5	152	158.5	1,990	84.2	162	180.7	4,467	86.5	156	168.2
	千葉	2,143	79.8	161	202.9	1,858	79.7	158	164.1	1,444	75.4	168	183.5	3,303	77.7	163	172.5
はくさい	市場計	5,010	101.3	86	151.1	4,583	95.5	87	151.2	3,789	108.3	111	224.3	8,372	100.9	98	180.9
キャベツ類	市場計	5,662	94.8	109	170.2	5,214	88.2	128	190.8	4,494	84.9	129	191.1	9,709	86.6	129	191.0
	千葉	1,280	77.1	110	179.8	1,401	109.5	126	183.8	1,153	96.9	126	189.5	2,554	103.4	126	186.5
ほうれんそう	市場計	577	126.2	479	68.9	680	140.8	424	66.9	547	109.3	419	87.4	1,226	124.8	422	76.0
	千葉	100	105.7	407	72.5	117	131.7	360	69.9	99	115.6	351	88.8	215	123.8	356	78.0
ねぎ	市場計	1,922	97.2	275	94.0	1,636	87.8	300	104.5	1,345	83.6	358	138.3	2,981	85.8	326	119.0
	千葉	676	86.8	292	96.0	600	80.3	303	102.4	589	87.4	368	140.9	1,188	83.7	335	120.0
レタス類	市場計	2,533	107.4	253	86.3	2,557	109.0	248	81.0	2,200	105.2	231	70.1	4,756	107.2	240	75.7
	千葉	216	105.4	237	78.2	211	119.2	227	73.9	181	116.9	212	68.4	392	118.2	220	71.3
きゅうり	市場計	1,812	112.9	389	71.0	1,811	110.5	341	64.8	1,707	94.7	315	77.0	3,518	102.2	328	70.6
	千葉	371	118.4	379	73.3	400	123.9	328	65.9	355	94.9	302	79.4	755	108.4	316	72.6
なす	市場計	545	121.7	470	74.3	567	103.5	464	83.8	521	81.4	475	103.9	1,088	91.6	469	93.6
	千葉	2	59.0	611	79.9	2	60.4	594	82.3	2	49.1	563	95.2	5	54.0	578	89.2
トマト	市場計	1,761	113.3	421	76.2	1,822	103.4	433	78.4	1,948	99.0	406	92.9	3,769	101.1	419	85.2
	千葉	85	104.7	401	81.2	91	115.0	404	78.9	93	98.2	382	90.2	184	105.8	393	84.7
ピーマン	市場計	559	106.7	608	82.5	538	131.9	626	71.1	482	96.7	616	75.9	1,020	112.5	622	73.7
	千葉	1	55.8	741	62.5	0	44.0	951	71.6	1	49.6	855	73.6	1	46.8	899	72.3
さといも	市場計	259	96.8	261	85.4	224	90.6	256	83.1	183	86.4	267	83.5	408	88.6	261	83.3
	千葉	50	61.6	236	83.7	57	64.7	221	74.7	45	57.4	225	73.7	101	61.2	223	74.1
ばれいしょ類	市場計	2,978	90.2	207	147.5	2,632	94.7	224	126.1	2,105	93.1	231	127.8	4,737	94.0	227	126.9
たまねぎ	市場計	4,576	111.0	99	118.7	4,419	107.3	100	107.5	4,125	115.2	103	102.1	8,543	110.9	102	104.9
生しいたけ	市場計	243	102.6	1,146	100.8	223	99.6	1,120	97.7	197	97.1	1,107	103.3	420	98.4	1,114	100.3
かぼちゃ	市場計	1,034	94.8	168	87.2	1,013	100.6	189	92.5	667	73.8	172	93.0	1,680	87.9	182	93.4
さやえんどう	市場計	67	139.6	940	74.4	65	177.9	1,034	58.9	60	154.5	1,127	72.0	126	165.8	1,079	65.1
かんしょ	市場計	1,213	95.0	207	89.1	1,134	93.3	210	87.5	927	85.9	212	87.6	2,061	89.8	211	87.5
	千葉	636	93.2	187	87.0	599	91.6	191	84.7	483	85.5	194	84.5	1,082	88.8	193	84.6
かぶ	市場計	500	89.4	142	110.2	497	100.0	147	99.8	412	87.2	148	102.7	909	93.8	147	101.2
	千葉	434	86.0	142	110.8	443	99.9	148	100.0	375	87.2	148	103.1	818	93.7	148	101.5
ごぼう	市場計	287	94.8	421	117.7	253	73.8	434	121.1	213	76.4	424	120.9	466	74.9	429	121.0
こまつ菜	市場計	361	92.1	372	85.3	382	95.9	343	82.5	339	86.7	346	100.9	721	91.3	345	90.7
	千葉	17	66.4	351	87.2	18	94.3	325	79.7	18	95.6	327	98.1	36	95.0	326	87.9
こねぎ	市場計	133	109.1	853	90.0	124	104.3	861	77.6	109	88.4	892	79.0	232	96.2	875	78.2
わけぎ	市場計	5.5	79.7	909	128.8	5.2	75.2	1,017	134.3	3.8	62.3	1,054	120.0	9.0	69.1	1,033	126.8
糸みつば	市場計	52	106.0	557	97.6	57	107.0	499	77.9	44	92.4	436	93.1	102	100.1	471	84.3
しゅんぎく	市場計	121	94.5	689	83.6	128	115.3	550	82.2	98	88.3	526	106.2	227	101.8	540	92.7
	千葉	52	99.1	669	82.5	59	129.4	529	80.6	41	87.8	502	103.7	99	108.4	518	91.0
にら	市場計	282	86.5	796	109.9	274	95.1	827	87.8	254	92.5	815	94.3	529	93.9	821	90.8
セルリー	市場計	318	107.6	230	87.5	357	113.2	210	81.8	283	86.0	204	86.7	640	99.3	207	84.3

品目	産地	1月下旬				2月上旬				2月中旬				2月上中旬計			
		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年6日・前年7日		開市日数 本年14日・前年15日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	128	206.2	269	64.4	171	208.7	231	57.3	117	140.7	224	67.2	288	174.4	228	62.0
ブロッコリー	市場計	740	107.8	450	90.4	1,000	134.9	375	81.4	848	119.3	352	78.1	1,848	127.3	365	80.0
サラダ菜	市場計	30	99.4	450	73.5	31	107.6	450	52.4	27	87.2	432	60.7	58	97.0	442	56.5
	千葉	11	88.5	388	72.8	12	103.6	396	48.8	10	70.2	383	57.6	22	85.4	390	53.3
パセリ	市場計	19	84.7	1,094	126.6	18	85.6	1,020	117.4	17	86.0	933	101.4	35	85.8	979	109.6
	千葉	8	71.8	1,001	136.7	9	77.5	921	119.7	8	83.0	813	98.1	17	80.1	868	108.8
チンゲンサイ	市場計	138	83.2	288	98.0	132	86.5	301	91.2	112	79.3	302	97.6	243	83.0	301	94.2
エンダイブ	市場計	4	82.5	719	104.1	4	80.5	669	88.2	3	64.4	716	102.8	8	72.6	689	94.6
ミニトマト	市場計	503	102.4	744	88.2	530	108.8	742	73.7	500	100.2	702	77.0	1,030	104.4	722	75.4
	千葉	45	139.5	843	87.5	46	145.3	836	75.8	39	102.0	792	81.7	85	121.6	816	79.2
とうもろこし	市場計	2	33.1	417	113.6	4	132.2	404	113.4	2	183.4	449	108.8	6	147.5	421	112.7
いんげん	市場計	109	106.6	779	82.4	116	113.5	733	70.7	81	86.4	793	80.8	197	100.5	758	75.0
そらめめ	市場計	69	186.3	638	98.3	50	353.5	730	56.9	49	561.2	805	50.8	98	433.0	767	54.9
えだまめ	市場計	1	20.6	2,275	138.5	4	79.9	1,355	113.3	6	40.0	885	122.8	10	48.7	1,052	127.8
やまといも	市場計	51	102.9	664	93.5	46	87.0	648	95.3	39	91.9	645	97.3	84	89.2	647	96.2
	千葉	34	112.8	662	92.6	31	92.5	638	93.5	25	90.8	641	97.2	55	91.8	640	95.1
根しようが	市場計	110	96.3	556	94.1	120	98.2	538	88.7	82	79.7	595	102.8	201	89.8	561	94.5
マッシュルーム	市場計	52	104.6	872	92.9	48	94.2	854	94.6	41	87.0	880	97.7	89	90.7	866	96.0
外国産	市場計	1,649	112.4	250	89.3	1,555	105.4	262	84.0	1,241	90.2	279	92.7	2,796	98.1	270	87.9
果実総量	市場計	15,032	105.0	415	95.7	14,881	111.6	425	94.0	12,397	110.4	448	95.3	27,278	111.1	435	94.6
みかん類	市場計	5,941	121.5	270	82.4	4,970	151.0	293	86.1	3,239	166.2	306	90.1	8,208	156.7	298	87.7
(早生みかん)	市場計	257	136.3	419	84.6	65	116.4	463	93.3	20	141.2	454	95.0	86	121.5	461	93.6
かんきつ類	市場計	3,185	92.8	323	96.9	3,825	90.8	316	97.6	3,717	96.8	313	93.3	7,542	93.6	314	95.5
りんご類	市場計	2,552	86.8	303	103.3	2,679	97.3	292	98.9	2,198	90.0	283	92.7	4,877	93.8	288	96.0
(ふじ)	市場計	2,136	86.9	302	103.8	2,194	93.5	292	99.4	1,789	87.0	283	92.9	3,983	90.5	288	96.4
いちご類	市場計	1,429	129.3	1,466	92.6	1,665	131.6	1,319	84.1	1,731	126.1	1,259	89.1	3,396	128.7	1,289	86.6
(とちおとめ)	市場計	823	124.4	1,333	93.0	870	125.6	1,226	85.6	830	117.1	1,206	92.9	1,700	121.3	1,216	89.1
(あまおう)	市場計	227	153.2	1,854	93.5	322	160.6	1,579	82.2	365	167.7	1,395	81.3	687	164.3	1,481	81.7
メロン類	市場計	135	99.7	957	91.1	131	96.2	843	82.9	119	99.1	845	84.8	250	97.6	844	83.8
(アールスメロン)	市場計	83	102.9	1,225	90.3	75	97.4	1,128	84.0	66	95.0	1,146	82.9	141	96.3	1,136	83.5
ずいか類	市場計	32	95.5	335	117.2	32	108.1	385	90.1	37	110.7	373	105.2	69	109.5	379	97.5
ぶどう類	市場計	37	107.8	398	84.5	37	158.8	448	85.0	38	192.3	441	75.5	74	174.2	444	80.3
かき類	市場計	188	180.6	326	72.3	94	349.5	364	72.4	77	757.0	360	52.5	171	461.1	362	65.5
外国産	市場計	1,369	99.3	205	94.0	1,338	91.1	216	95.5	1,149	81.1	220	98.5	2,487	86.2	218	96.9

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。

0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 3月の見通し

野菜

関東と東海、九州・四国の西南暖地が中心産地となる。

先月に引き続いて天候も安定し、年内長く続いた全体的な生育不良の影響は残らない見込み。入荷量は、苗時期の流亡により面積減となっている「にんじん」が前年を割り込むほかは、「だいこん」「キャベツ類」「ほうれんそう」「トマト」等全体的に前年を上回る見込みで、全体では本年の入荷量は前年を上回る見込み。

入荷減が予想される「にんじん」を除いては大きな価格高の予想はなく、入荷潤沢とみられる「だいこん」「ほうれんそう」「トマト」を中心に前年を下回ると予想され、全体として前年を下回る見込み。

果実

「かんきつ類」「いちご類」「りんご類」を中心に出回る。

入荷量は、「かんきつ類」は平年より少ないものの、不作だった前年を上回る見込み。「いちご類」は生育順調で潤沢な出回りが見込まれる。全体では少なかった前年を上回る見込み。

価格は、入荷増が見込まれる「かんきつ類」は前年を下回る見込み。2月から潤沢な入荷が続く「いちご類」は引き続き量販店の売場を確保し、しっかりした引き合いとなる見込み。全体では、高かった前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	↘	↘	⇒	主産地は神奈川・千葉県で生育は順調。2月の出荷前進で神奈川県の上り上がり早い。入荷量は少なかった前年を上回るが平年を下回る見込み。
にんじん	↘↘	↘	↑↑	↑↑	主産地は千葉・徳島県。千葉県は播種時の降雨等による影響で実質作付減。入荷量は前年及び平年を下回る見込み。
キャベツ類	↗	⇒	↗	⇒	主産地は愛知・神奈川・千葉県。作柄は良好。入荷量は少なかった前年を上回り平年並の見込み。
ほうれんそう	↑↑	⇒	↓↓	↘	主産地は茨城・群馬・埼玉県。生育順調で品質もよい。入荷量は少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
ねぎ	⇒	↘	↘	↗	主産地は千葉・埼玉県。千葉県は干ばつ・強風の影響から回復しつつある。入荷量は少なかった前年並の見込み。
きゅうり	⇒	↗↗	↘↘	↘↘	主産地は群馬・宮崎・千葉・埼玉県。生育は順調。入荷量は多かった前年並の見込み。
トマト	↗	⇒	↓↓	↓↓	主産地は熊本・栃木県。作柄は良好。入荷量は少なかった前年を上回り、平年並の見込み。

増加

減少

凡例	
⇒	平年並: ±2%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%
↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 品目別生産出荷概況

だいこん

主要産地のだいこんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	28年3月入荷量	28年3月シェア率
神奈川	6,303 t	54.7 %
千葉	4,394 t	38.1 %
茨城	73 t	0.6 %
青森	1 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における冬春期のだいこんの主産地は神奈川県、千葉県で、シェアは90%以上になります。3月までは露地栽培が中心の神奈川県が多く、4~5月はトンネル栽培を行う千葉県、茨城県が中心となります。6月に青森県や北海道のだいこんが入り始めるまでの間、関東の産地で入荷量の大半を占めます。

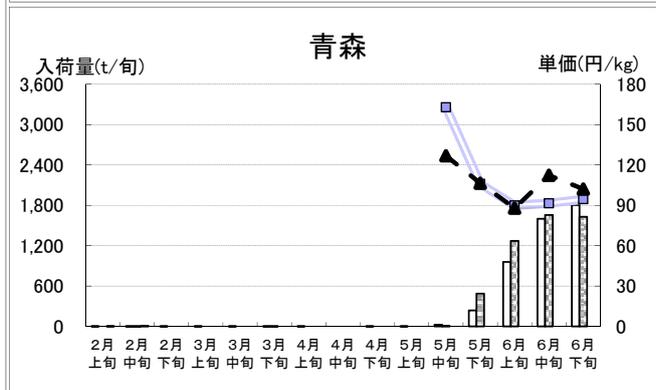
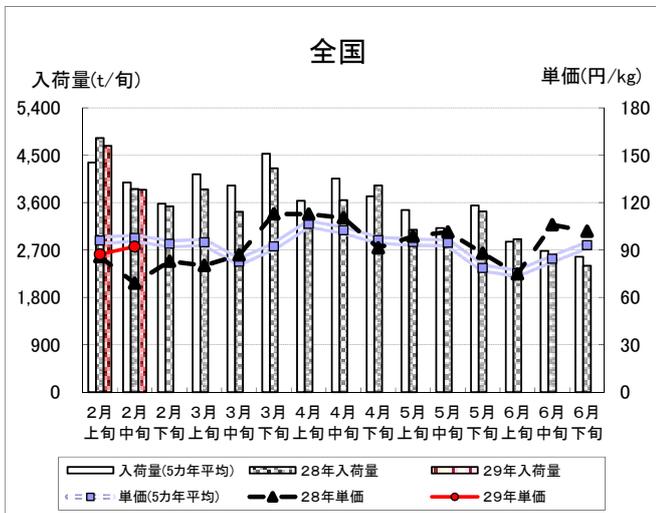
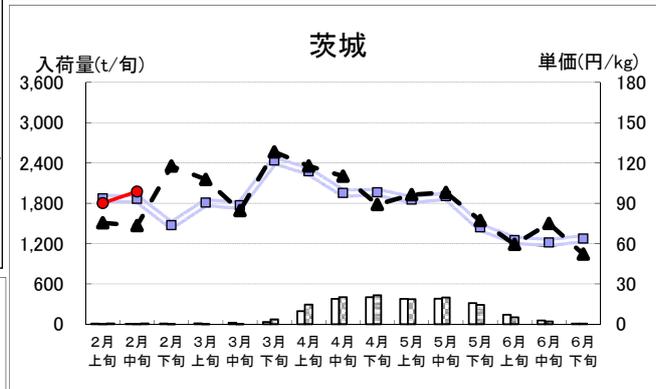
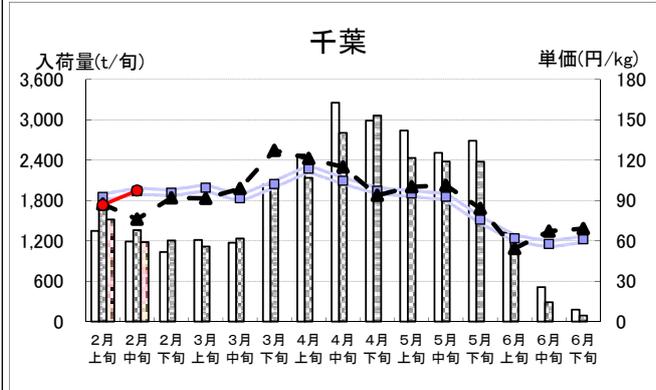
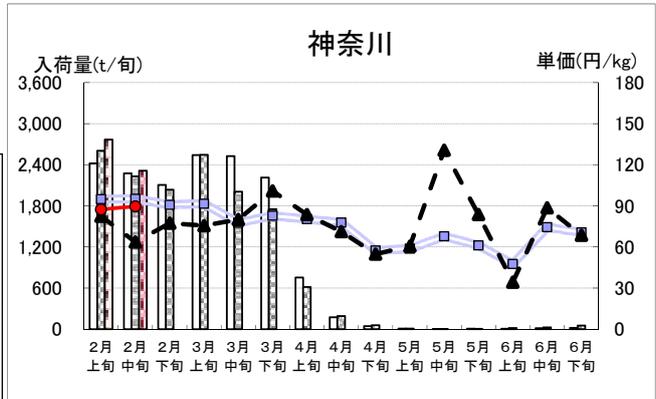
年内までは、播種期の天候不順と、その後の日照不足の影響を受け、入荷量はやや少なく、価格高となっていました。しかし、年明けから入荷量が安定し、平年を上回ってくるなど入荷が潤沢となってきたことから、価格も概ね平年並に落ち着いてきています。

各産地の3月の入荷量の見通しは以下のとおりです。

神奈川県は生育順調となっており、3月の入荷量は少なかった前年をやや上回る見込みです。

千葉県は播種期の降雨で作業が遅れた地域もあるものの、生育は順調で、3月の入荷量は前年及び平年並の見込みです。

3月入荷予測	12,000t(前年比104.1%、平年比95.3%)		
3月価格予測	90円(前年比95.6%、平年比99.9%)		
3月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗



Ⅱ 花き(切花)情報

2月の経過(上～中旬)

入荷量は平年をやや上回り、相場は大きな需要もなく厳しい展開。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	入荷量は前年並で、平年をかなり上回った。
相場	相場は平年をかなり下回った。
動向	菊類は入荷量が平年並であったが、相場は平年をかなり下回った。 草花類の入荷量が平年をかなり上回った。特にストックの入荷量が平年を大幅に上回り、相場は非常に厳しい展開となった。

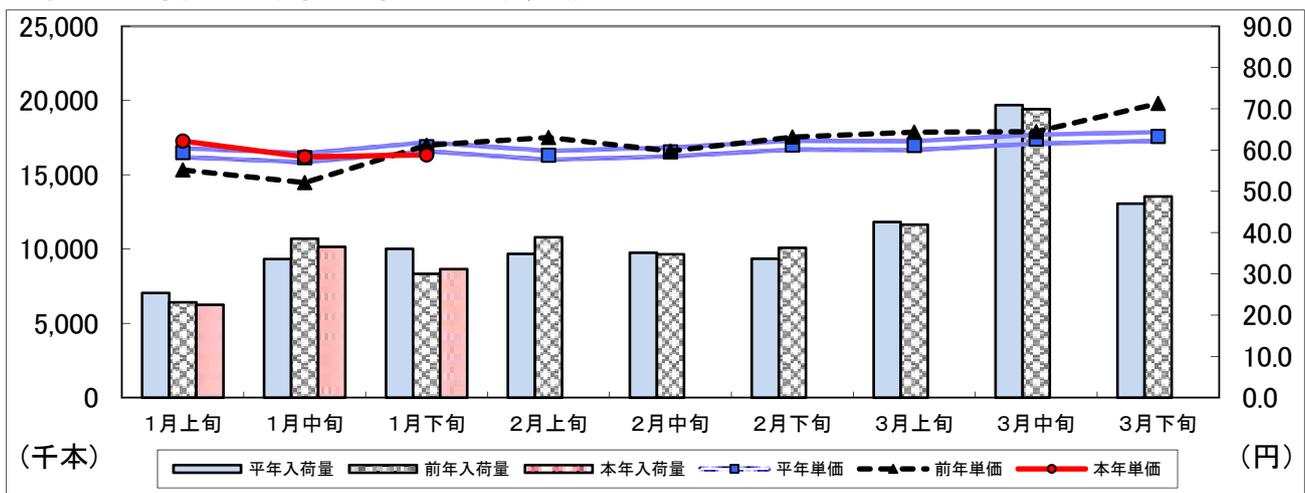
品目別経過

品目	経過
輪菊	東京フラワーポート(株) 上旬以降は大きな崩れはなかったものの、上位等級が少なく相場は低い状況だった。
ストック	(株)大田花き 上旬より千葉県中心にSP・ST共に出荷量大きく増加し、厳しい相場展開となった。露地は和歌山県産の入荷が、中下旬にかけて増加した。

3月の見通し

品目	見通し
ガーベラ	(株)大田花き 上旬より卒園式関係の納めが始まり相場は徐々に上昇。入荷量も平年並みの見込み。昨年ほどの高値は出ない見込みだが、月間通して安定した取引となる。
ストック	東京フラワーポート(株) 暖地物はかなり前進し、彼岸頃から品薄となる。彼岸用の露地物は需要期前に切り上がる産地が見られる。

1月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H29.1月				累計 (H28.4~H29.1月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
野菜	21,662	191	95	113	226,502	208
だいこん	2,764	77	95	137	28,222	102
にんじん	1,413	135	81	190	13,657	169
はくさい	2,512	86	105	175	17,531	91
キャベツ	3,733	96	88	168	40,612	100
ねぎ	1,031	277	89	118	8,919	340
トマト	640	448	105	86	11,006	356
きゅうり	673	366	102	86	8,993	313
ばれいしょ	1,117	202	83	160	12,049	185
たまねぎ	1,812	83	106	118	18,902	101
レタス	906	199	112	77	11,107	191
果実	5,376	362	105	94	55,221	333
みかん	2,310	231	114	84	11,479	255
かき類	117	276	291	64	3,706	271
グレープフルーツ	57	254	67	101	1,173	210
なし類	13	279	127	104	5,563	280
ぶどう類	24	362	218	63	1,886	758
いちご類	501	1,365	118	98	1,914	1,174
すいか類	3	346	69	121	6,401	193
メロン類	34	629	144	72	3,070	388
バナナ	458	139	121	78	4,834	163
りんご	561	302	71	109	5,515	317
その他	291	239	108	98	2,613	184
青果物合計	27,329	225	97	108	284,336	232

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H29.1月				累計 (H28.4~H29.1月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
切り花	3,065	62	145	112	35,715	61
きく	1,079	68	147	107	13,759	66
バラ	149	67	187	89	1,482	66
カーネーション	309	45	151	107	4,755	45
枝物	95	93	161	97	1,587	92
鉢物	76	121	165	81	1,178	130
その他	2	15	100	14	56	93
花き合計	3,238	64	145	110	38,536	65

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「制 約」

気がつけば年度末。季節的にはもうじき春なのだろうが、妙に暖かかったり寒かったりで忙しい。4月末の陽気と昨日まで言っていた天気予報が、今日には真冬の寒さとアナウンス。青果物の生育も前進・遅延とバタバタだ。これでは卸売会社も入荷・価格見通しが立てづらいとぼやくわけだ。

毎年この時期になると、市場では毎週のように冬春野菜やいちご・中晩柑類の試食宣伝会が開催されている。かくいう千葉県も1月31日には県内6JA合同のねぎ試食宣伝会を実施した。当日はぐっと冷え込んだこともあり、試食品の温かいスープが大当たり。多くの買参人が詰めかけ、用意した400食はわずか20分でなくなる盛況ぶりだった。

卸売場で日々開催される試食宣伝会、実施時間はわずか30分、この短い時間の中には、実は色々な制約がある。市場の空気を逸脱した鳴り物や派手な催しは行えない。また、曜日によって人の流れも違うため、人の導線やアナウンスのタイミングにも気を使わなくてはならない。使える予算も限られている。このような様々な制約の中、伝えたいこと・伝えるべきことを伝えなくてはならない。

特にここ数年、制約が強くなったのが試食品のレギュレーションだ。まず、米飯類や肉を使用したものは一切禁止。果物では、昔は現場で皮むき・カットをしていたが、今は全てウイルス・細菌の付着可能性の少ない場所でカットしたもののみ提供可能となった。野菜では、スープを作る場合、投入できる具材は2種類までで、煮込む等の具材の形が残らないメニューはNG。簡単な手順（カットして和える等）以外はダメなどなど…。食中毒を防ぐ目的等から、かなり厳しく制約されている。

このレギュレーションの強化により、ご飯と併せて提供したいものや、季節のメニューとして提供するきのこ鍋、具材に豚肉を使うキムチ鍋など、メニューの変更・廃止や試食宣伝会そのものの中止等を余儀なくされたものは枚挙に暇がない。

こういったレギュレーションの強化等はここしばらくは落ち着いてきてはいるが、この先何にどんな制約が課されるかはわからない。試食宣伝会が滞りなく行われるよう、担当者は常に「どのような制約があるか」「今ある制約にどう対応するか」細心の注意を配りながら企画しているのである。

一見、毎年ただ実施しているように見える試食宣伝会も、毎回毎回様々な制約をクリアした結果実施までこぎつけている、いわば歴戦の猛者なのである。市場で試食宣伝会に出くわしたときは、試食品の美味しさやPRの方法だけでなく、各産地の担当者がいかに頭を捻って企画したものなのか、という観点から見てみるのも面白いのではないだろうか。

(へたれボルダラー)

V 首都圏掲示板



青森県産りんご、知事トップセールス開催！



りんご生産者でもある「ミスりんごあおもり」と息もぴったり。



競り台でのPRでも全力投球。
写真でも伝わるこの迫力！

2月6日（月）、大田市場で青森県の三村知事によるりんごトップセールスが開催されました。

早朝冷え込む中、三村知事はお馴染みの真っ赤なりんご柄の半纏で登場。流行りのPPAPに引っ掛け「I have an Apple! みんなよろしくね!」と陽気に話しながら、ミスりんごあおもりと共に自ら試食品を市場関係者に配り歩いていました。

挨拶では、「青森のりんごはとにかく土づくりにこだわっています。今年もぎゅっとしまっていていいりんごが出来ました!」とPR。

続いて、これもお馴染みのアロハシャツの下に着たTシャツで、今年にはんにくやトマトなどの県産の野菜を売り込みました。

相変わらずの盛り上げ上手な三村知事に乗せられて、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



しのぎを削る中晩柑！2月の果実売場！

2月に入ると温州みかんから中晩柑へと主役が移ります。中晩柑といえば、不知火（デコポン）、伊予かんが出荷量の多くを占めますが、そのほかにも、清見、せとか、甘平、はるみ、河内晩柑など全国から実に様々な品種が集まり、食味や食べやすさなどの品質を競い合っています。

今年は2013年品種登録の高糖度の中晩柑「あすみ」が早くも市場に入荷しており、特選規格では糖度18度を超える驚きの甘さで、高級果物を中心に販売する仲卸が競って取扱いを始めています。

次はどんな品種が出てくるのか？市場を舞台にした、中晩柑新品种の戦いはまだまだ続きそうです。



各種中晩柑が並ぶ果実売場（上）、
新品种「あすみ」（下）